

PRESSRELEASE



2022年9月7日

ケニアの母子支援活動「Mother to Mother SHIONOGI Project」診療所の 太陽光発電の稼働開始について

パナソニックホールディングス株式会社（本社：大阪府門真市、代表取締役社長執行役員：楠見 雄規、以下「パナソニックHD」）は、塩野義製薬株式会社（本社：大阪市中央区、代表取締役会長兼社長 CEO：手代木 功、以下「塩野義製薬」）が2020年4月より国際NGOワールド・ビジョン・ジャパン（事務局長：木内 真理子、以下「WVJ」）と共に活動を開始しているケニアの母子支援活動「Mother to Mother SHIONOGI Project」の第二期事業地である、ケニア共和国キリフィ県のリマ・ラ・ペラ診療所へ、太陽光発電システムを設置し、電力供給を通じた医療サービスの提供サポートを開始したことをお知らせいたします。



<蓄電システム>



<ソーラーパネルが設置された産科棟>

「写真提供：ワールド・ビジョン・ジャパン」

塩野義製薬は、2015年から塩野義製薬およびSHIONOGIグループ社員からの寄附をもとに、国際NGOワールド・ビジョンの協力により、ケニアの母子健康改善に向けた取り組みを開始し、第二期事業では、ケニア共和国キリフィ県の3つの診療所を対象に支援しています。その1つであるリマ・ラ・ペラ診療所は、電力の供給が不十分であり安定した医療サービスや夜間診療が提供できないという課題がありました。そこで本課題に対し、パナソニックHD「LIGHT UP THE FUTURE プロジェクト」の取り組みで、太陽光発電システムに

よる医療サービスの提供を実現しました。本事業において、塩野義製薬、WVJ、パナソニックHDの3者の協働は、母子保健の共通課題の改善に向けた初めての取り組みです。

塩野義製薬の取締役副会長の澤田拓子は次のように述べています。

「リマ・ラ・ペラ診療所は、電力の供給が不十分であり、ワクチンは不安定なガス冷蔵庫で保存され、医療機器や検査機器も十分に使用できず、提供できる医療サービスが制限されていました。本連携事業により、診療所に電気が通ることで、夜間診療、夜間の施設分娩や安定的な医療機器の使用が可能となり、必要な医療サービスをより多くの方に提供できるようになることが期待されます。」

WVJ 事務局長の木内真理子は次のように述べています。

「Mother to Mother SHIONOGI Project」（以下、M2M Project）でリマ・ラ・ペラ診療所が新たに建設され、さらにパナソニックHD様も加わった本連携事業により、診療所に電気が通うようになりました。夜間の診療をこれまで懐中電灯に頼っていた診療所スタッフからは、早速、感謝の声が届いています。M2M Projectが進めてきた母子保健や栄養に関する啓発の結果、地域の母親自身から子どもたちの栄養状態がよくなっているという力強い声があがっています。診療所がより安定して保健サービスを提供できるようになることで、地域の信頼も増し、利用がさらに促進され、母子の健康改善にいっそう貢献することが期待されます。今後も地元政府とも連携し、診療所の機能拡充に取り組んでまいります。」

パナソニックHDのCSR・企業市民活動担当室 室長の福田里香は次のように述べています。

「無電化地域で暮らす人々はあかりや電気がないことで様々な不利益を被っています。リマ・ラ・ペラ地区では、電気がないことでワクチンの保管や夜間の医療サービスができないとお伺いし、当社のあかりや電気でお役立ちができないかと考えました。本事業がケニアの医療や母子保健サービスを向上させることによって「健康」の機会を創出し、当社の企業市民活動の重点テーマの1つである「貧困の解消」に繋がることを期待しています。」

パナソニックHDは、今後も、多様なパートナーとともに、企業、NGOなどそれぞれの強みを活かすコレクティブ・インパクト*を通じて、無電化地域に、パナソニックの再生可能エネルギーによるあかりや電力を届け、「教育」「健康」「収入向上」の機会創出をする事で、貧困のない持続可能な社会づくりに取り組んでまいります。

* 複数の組織（企業や行政、NGO/NPO など）が協力し、社会課題の解決に取り組むことで効果を最大化すること

パートナーについて

塩野義製薬株式会社

塩野義製薬は「常に人々の健康を守るために必要な最もよい薬を提供する」という基本方針に基づき、患者さまの利益に貢献しています。当社は、HIV、インフルエンザ、抗菌薬耐性に対する新薬の研究開発に取り組み、現在、新規シデロフォアセファロスポリン抗菌薬であるセフィデロコルを含むいくつかの感染症領域における治療薬を販売しています。当社は、感染症および精神・神経疾患を研究開発のコア領域として特定し、社会的ニーズの大きな疾患領域の研究開発に取り組んでいます。塩野義製薬株式会社の詳細については、<https://www.shionogi.com/jp/ja/>をご覧ください。

国際 NGO ワールド・ビジョン・ジャパン

ワールド・ビジョンは、キリスト教精神に基づいて、開発援助・緊急人道支援・アドボカシー（市民社会や政府への働きかけ）を行う国際 NGO です。国連経済社会理事会に公認・登録され、約 100 カ国で活動しています。日本事務所は東京都中野区です。

詳細については <https://www.worldvision.jp/> をご覧ください。

パナソニック ホールディングス株式会社

1918 年の創業以来、「社会生活の改善と向上」と「世界文化の進展」の実現に向けて事業に取り組んでまいりました。これからも、物と心が共に豊かな「理想の社会」の実現に向け、社会課題に正面から向き合って、新しい価値を創造していきます。

詳細については <https://holdings.panasonic.jp/> をご覧ください。

LIGHT UP THE FUTURE プロジェクト

<https://www.panasonic.com/jp/corporate/sustainability/citizenship/solution/power.html>

以 上